

私の相棒へ

君との出会いは、小学三年生の春。おばさんからプレゼントされた君をみたとき、私は初めてひとめぼれをした。一番気に入っていたのは、君のおしりについていた白いパール。そんな君と、いっしょに
いるだけで、勉強や宿題がスラスラとけた。



これからもよろしくね。

伊吹より

と気づけばおしりのパールはなくなっていて、私の
筆箱の中では、一番のチビ助。だけど、そんな君が
今でも大好きだし、これからも私の相棒。
いっしょにいっしょにいてくれて、

本当にありがとう。